

# 福山駅前デザイン会議 の進め方について

2018年5月21日  
福山市にて



AFTERNOON SOCIETY Inc.

清水義次

[shimizu@as-tokyo.com](mailto:shimizu@as-tokyo.com)

# 福山駅前再生協議会→駅前再生ビジョン発表

2018年3月28日



“働く・住む・にぎわい”が一体となった福山駅前

6つの再生の方向性

**01** 福山の伝統と柔軟なアイデアが出会うビジネスの拠点づくり  
～備後圏域の強みである素材を活用した  
イノベーションが生まれるエリア～

- 施策**
- ・創造力を刺激するモノ・コトと出会う場をつくる
  - ・アイデアのぶつけ合いでビジネスチャンスが生まれる拠点をつくる
  - ・稼ぐ力の創出

**02** 新しいライフスタイルの実現  
～おしゃれで新しいライフスタイルを生み出し、発信するエリア～

- 施策**
- ・ICT, IoT, AIなどを活用した生活の質の向上
  - ・自分らしく働く
  - ・楽しさを感じるまち
  - ・まちなか居住の促進

**03** 福山城などを活用したにぎわいの創出  
～福山城を核とした新たな観光都市エリア～

- 施策**
- ・福山城の遺構を生かした歴史を感じる空間
  - ・ばらやみどりのあふれる癒しの空間
  - ・おしゃれで未来的なイベントが多発するまち

**04** ヒト・モノ・カネの活発な交流を支える交通環境の充実  
～思わず立ち寄りたくなる、プラブラしながら楽しめるエリア～

- 施策**
- ・誰もが行きやすい駅前
  - ・備後圏域の拠点にふさわしい交通ネットワーク機能の強化
  - ・車優先の空間から歩行者優先の空間への転換

**05** 地域づくり・人づくり  
～まちの課題解決に向けたワークショップなど  
まちづくりに参画できるチャンスのあるエリア～

- 施策**
- ・多様な価値観が認め合える共生社会
  - ・公と民が連携してつくる持続可能なまち
  - ・安心・安全で快適な暮らしの創出
  - ・シビックプライドの醸成

**06** 戦略的な情報発信  
～福山市や備後圏域の地域資源の魅力や  
福山駅周辺のまちづくりに関する情報発信の拠点となるエリア～

- 施策**
- ・福山市ならではの地域資源の発信
  - ・備後圏域の情報発信の拠点
  - ・ターゲットの明確化と多様なメディアの活用



公共空間の再整備イメージ(福山駅周辺)



※1 飲食店、売店等の公衆利用者の利便の向上に資する公衆利用施設等の整備と、当該施設から生ずる収益を返還してその周辺の道路、広場等の一般の公衆利用者が利用できる特定公衆利用施設等の一体的に行う事を、公費により定する「公衆利用施設整備条例」のこと。[福山市公費の償還の向上に向けたPark-PFI導入ガイドライン(2017年度版)]

※2 地区の中心部への自動車の流入を抑制し、自動車と歩行者の動線分断を越えることなどを目的に、地区の周縁部(フリッジ)に整備する駐車場のこと。

# リノベーションスクール

4つのリノベーション案件について具体的な事業提案する  
2018年2月2日～4日



# 福山駅前エリアがにわかに関心され動き出した

- 初年度、駅前再生ビジョン、リノベスクールは福山駅前エリアの潜在的な価値があることをアナウンスしました
- その結果、駅前エリアに対する民間の投資意欲がふっふっつと湧いてきました
- スタートは上々、いや予想以上の動きです



# この後大切なこと

- それは、「駅前再生ビジョン」に沿った質の高い民間投資と質の高い公共投資を駅前エリアに集積させることです
- 一般的な、普通レベルの投資が行われても魅力的で、永続きする福山駅前エリアにはならないでしょう
- 逆に陳腐なものができるしまうと、駅前エリアの価値がおそらく下落します

さあ、どうしたら目指すところが  
実現できるのでしょうか？

こういうことをデザイン会議で  
議論していきましょう



道路の使い方を変えることや  
公園を変えることについても  
デザイン会議で議論しましょう

試して、観察して、検証して

その結果を次に生かす

それを繰り返していく

デザイン会議はこれらのプロジェクトに  
対してアドバイスして行きたいと思います

# 目指すところ

- 福山駅前エリアを再生して
- 多様な事業と産業を育てる
- やりがいのある仕事を創る
- 人材を集めて、育てる
- 新しいコミュニティを育む
- 素敵なライフスタイルを生み出す
- 福山市の中心と周辺を繋ぐ
- これらにより再生ビジョンを具現化すること